

レストハンド
背もたれ BHA K型

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

-  △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

施工にあたって

警告



禁止

修理技術者以外の人、絶対に分解・修理・改造をしない
背もたれの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。



必ず実行

必ず強度のある壁や建築構造体に取り付ける
土壁・石膏ボードなどの強度の無い壁に直接取付けると、背もたれが外れたり壁が壊れたりして、使用される方がケガをするおそれがあります。



必ず実行

トイレなどの水まわりに取付ける場合は、取付け穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布する
シーリング剤を塗布しないと壁裏へ水が浸入し、背もたれが外れたり壁が壊れたりして、使用される方がケガをするおそれがあります。



必ず実行

必ず指定の固定金具を使用する
指定の固定金具を使用しないと、背もたれが外れたり、壁が壊れたりして使用される方がケガをするおそれがあります。



必ず実行

各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する
下地に十分な厚さ、補強がないと、背もたれが外れたり、壁が壊れたりして使用される方がケガをするおそれがあります。



必ず実行

取付完了後、背もたれにガタツキが無いことを確認する
背もたれにガタツキがあると、背もたれが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が、ケガをするおそれがあります。

警告



必ず実行

便座は、ふた無し品を使用する
ふたの破損の原因になります。



必ず実行

棚手すりやタオル掛けなどのアクセサリ類が背もたれに干渉しないことを確認する
アクセサリ類の破損の原因となります。



必ず実行

便座がフラッシュバルブ式かどうかを確認する
本品はフラッシュバルブ式用背もたれであるため、ロータンク式便器へは施工できません。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタクル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>

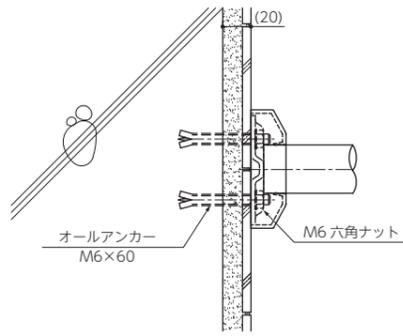


携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

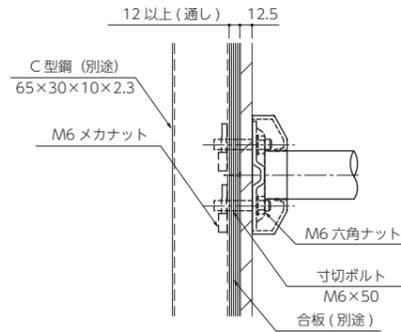
取付例

下記の取付例は一例です。取付けに使用するアンカーは、別途ご用意ください。

RC+モルタル+タイル貼



C型鋼+合板+硬質PB1枚貼

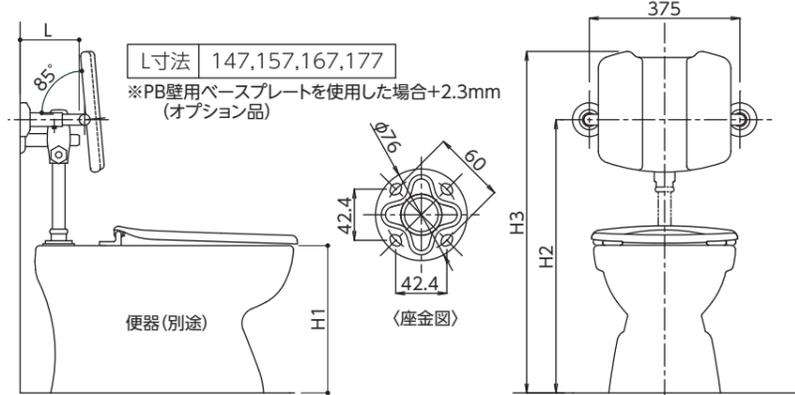


背もたれの取付

製品図と部品表

便器高さH1寸法により、背もたれの取付高さH2および背もたれ高さH3が異なるため、あらかじめ便器の高さをご確認ください。便器の種類によっては、背もたれ部に便座が当たり、便座を起こしたときに自立ができないことがあります。施工前に部品を確認してください。部品の組立てには、付属の六角棒スパナ（二面幅6mm、4mm）を使用してください。

製品図



便器と背もたれの位置関係

| 便器H1 | H2 | H3 |
|---------------|-----|-----|
| 350 | 660 | 830 |
| 360 | 670 | 840 |
| 370 | 680 | 850 |
| 380 | 690 | 860 |
| 417 (障害者対応便器) | 730 | 900 |
| 420 (障害者対応便器) | 730 | 900 |

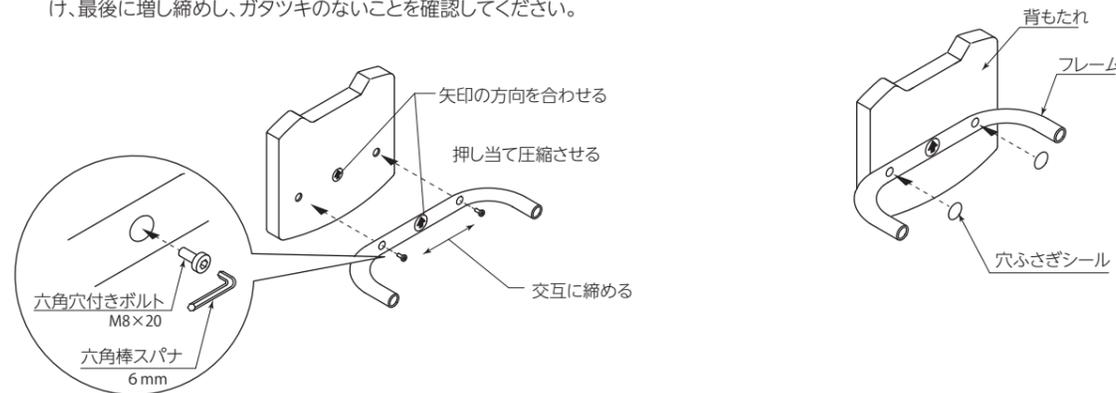
部品表

| 名称 | 数量 |
|---------------|----|
| 支柱 | 2 |
| 化粧カバー | 2 |
| フレーム | 1 |
| 背もたれ | 1 |
| 六角穴付きボルトM8x20 | 2 |
| 六角穴付きボルトM5x10 | 2 |
| パネ座M5 | 2 |
| M5、M8用六角棒スパナ | 各1 |
| 穴ふさぎシール | 2 |
| 取扱説明書 | 1 |
| 施工要領書(本書) | 1 |

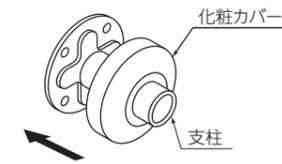
施工手順 RC下地の場合

1 組立て

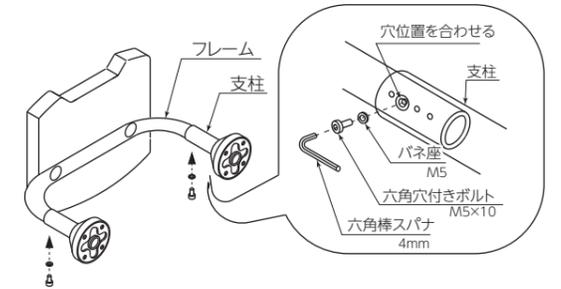
- ① 背もたれとフレームの矢印方向を合わせ、六角穴付きボルトM8x20を使用して組立てます。その際、左右のボルトを交互に少しずつ締め付け、最後に増し締めし、ガタツキのないことを確認してください。
- ② 穴ふさぎシールを貼り、フレームの矢印シールをはがしてください。



- ③ 支柱に化粧カバーを差し込みます。



- ④ ②と③を六角穴付きボルトM5x10とパネ座金M5を使用して組立てます。フレームのめねじ穴と支柱のザグリ穴の位置を合わせ、適切な位置で固定してください。

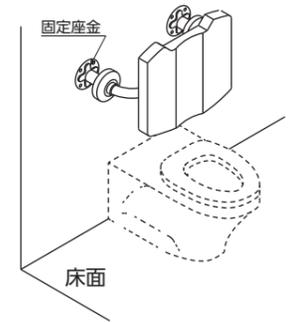


2 墨出しおよび製品の固定

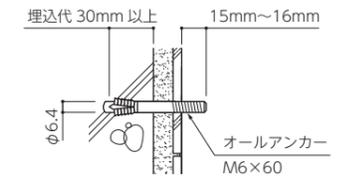
- ① 製品図を参考に壁面にアンカー位置を墨出します。
- ② 組み立てた製品を壁に押し当て、ケガキ位置と穴位置が合っているか確認してください。

注意

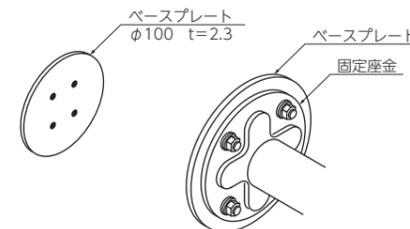
- ❗ お願い 背もたれがフラッシュバルブにぶつからないことを確認してください。背もたれの壁面取付部が壁給水等にぶつからないようにしてください。



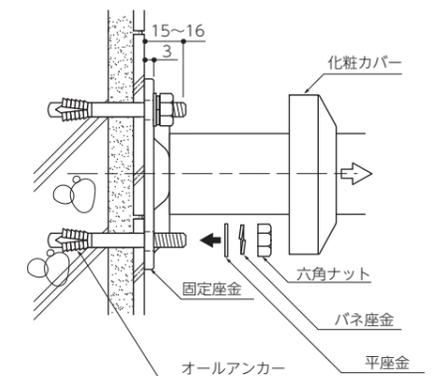
- ③ φ6.4mmのドリルを使用し、壁面からアンカーの上端まで15mm~16mm程度になるように下穴をあけ、アンカーを確実に打込んでください。



- ④ アンカーに固定座金をセットし、平座金・パネ座金・六角ナットの順で取付け固定してください。その際、確実に固定し、ガタツキの無いことを確認してください。
※壁面がプラスターボード(PB)の場合、壁面保護のため、ベースプレート(オプション品)を必ず使用してください。



※固定後、化粧カバーを固定座金にセットしてください。



警告

- ❗ お願い ナットは回らなくなるまで締め付けてください。締め付けが緩いと、背もたれが外れてケガをするおそれがあります。

注意

- ❗ お願い 壁面がPBの場合は、PB壁保護のため、ベースプレート(オプション品)を必ず使用してください。

- ⑤ 最後に背もたれの出幅(L)が適正かどうか最終確認し、六角穴付きボルトM5x10を確実に締め込み、ガタツキが無いことを確認してください。

警告

- ❗ お願い ボルトは回らなくなるまで締め付けてください。締め付けが緩いと、背もたれが外れてケガをするおそれがあります。

